

事務連絡
令和6年7月30日

関係団体の長 殿

鳥取労働局労働基準部
健康安全課長

令和5年に発生した酸素欠乏症等の労働災害発生状況について

日頃から、労働基準行政の推進にご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、酸素欠乏症等防止規則（昭和47年労働省令第42号）に定める酸素欠乏危険作業等において発生した酸素欠乏症又は硫化水素中毒（以下「酸素欠乏症等」という。）について、令和5年（2023年）に発生した休業4日以上労働災害発生状況及び災害事例が、厚生労働省において別紙のとおり取りまとめられたところです。

令和5年（2023年）の全国における酸素欠乏症等による労働災害は、令和4年（2022年）と比較すると減少していますが、ここ数年増減を繰り返しており、減少傾向とは言えない状況です。

特に酸素欠乏危険場所で酸素欠乏空気にばく露した事案等が発生しており、教育の不足がうかがわれる事例が見られています。

このような現状を踏まえ、貴会傘下の会員事業場に対し、酸素欠乏症等防止規則の遵守の徹底、酸素欠乏症等の項目にかかるリスクアセスメントの実施等、酸素欠乏症等の災害防止に向けた周知をお願いいたします。



酸素欠乏症等の労働災害発生状況

1 酸素欠乏症等の労働災害発生状況（1994年～2023年）

(1) 酸素欠乏症

2023年の酸素欠乏症による労働災害は、3件（前年比1件減）であり、被災者は4人（前年比2人減）、うち死亡者は4人（前年比1人減）であった。

過去20年間（2004年～2023年）の労働災害は計118件であった。

(2) 硫化水素中毒

2023年の硫化水素中毒による労働災害は、2件（前年比2件減）であり、被災者は2人（前年比3人減）、うち死亡者は0人（前年比2人減）であった。

過去20年間（2004年～2023年）の労働災害は計68件であった。

表1 酸素欠乏症の労働災害発生状況（1994年～2023年）

年		1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
酸素 欠乏症	発生件数	16	14	13	15	17	7	17	12	7	5	10	8	11	9	6
	被災者数	22	23	22	25	28	9	21	15	10	5	11	9	12	11	8
	死亡者数	8	14	10	8	9	3	10	7	7	3	2	4	9	5	5

年		2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
酸素 欠乏症	発生件数	3	2	2	6	5	1	9	11	5	6	4	10	3	4	3
	被災者数	6	3	2	7	7	1	9	13	5	7	5	12	3	6	4
	死亡者数	4	3	2	5	3	0	6	4	5	6	5	8	2	5	4

備考：被災者数は死亡者数を含む。

表2 硫化水素中毒の労働災害発生状況（1994年～2023年）

年		1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
硫化水素 中毒	発生件数	6	4	8	3	5	6	3	5	7	2	2	2	3	1	3
	被災者数	12	8	13	5	7	13	7	7	18	2	4	3	3	1	3
	死亡者数	2	1	4	0	2	6	6	1	15	0	3	0	2	0	2

年		2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
硫化水素 中毒	発生件数	1	1	2	3	5	4	4	2	7	5	5	6	6	4	2
	被災者数	3	1	3	4	10	6	5	3	7	10	5	9	6	5	2
	死亡者数	0	0	1	2	6	2	1	0	2	4	1	6	2	2	0

備考：被災者数は死亡者数を含む。

図1 酸素欠乏症の労働災害発生状況の推移（1994年～2023年）

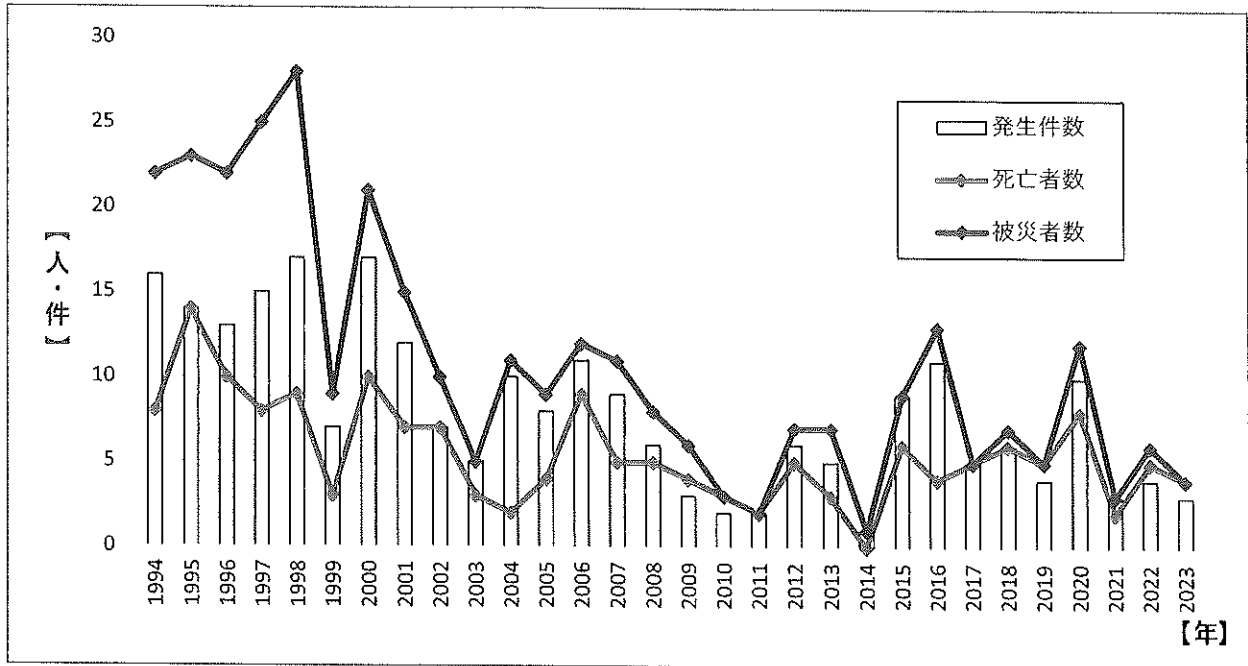
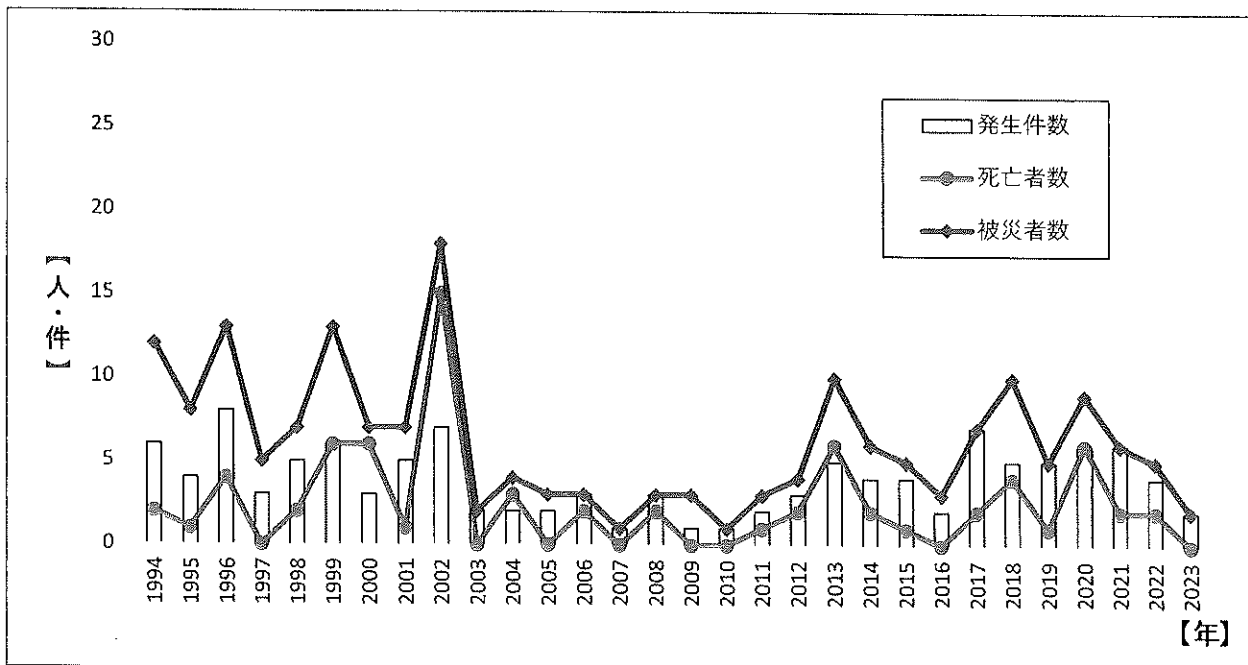


図2 硫化水素中毒の労働災害発生状況の推移（1994年～2023年）



2 酸素欠乏症等の業種別発生状況（2004年～2023年）

(1) 酸素欠乏症

過去20年間の業種別発生状況をみると、製造業が最も多く、次いで建設業であり、この2業種で全体の約7割を占めている。

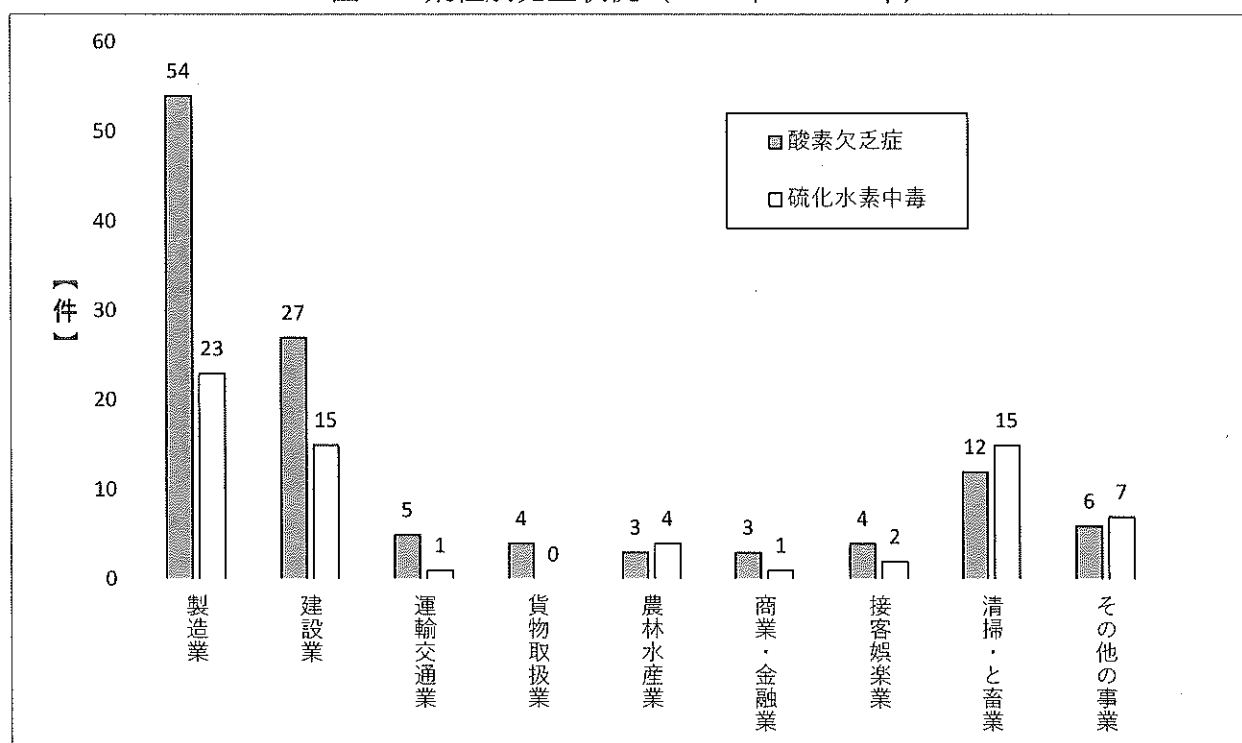
(2) 硫化水素中毒

過去20年間の業種別発生状況をみると、製造業、建設業、清掃・と畜業が多く、この3業種で全体の約8割を占めている。

表3 業種別発生状況（2004年～2023年）（件）

	製造業	建設業	運輸交通業	貨物取扱業	農林水産業	商業・金融業	接客娯楽業	清掃・と畜業	その他の事業	計
酸素欠乏症	54	27	5	4	3	3	4	12	6	118
硫化水素中毒	23	15	1	0	4	1	2	15	7	68
計	77	42	6	4	7	4	6	27	13	186

図3 業種別発生状況（2004年～2023年）



3 酸素欠乏症等の月別発生状況（2004年～2023年）

(1) 酸素欠乏症

過去20年間の月別発生状況をみると、発生件数が多い月は10月の16件、7月の15件である。

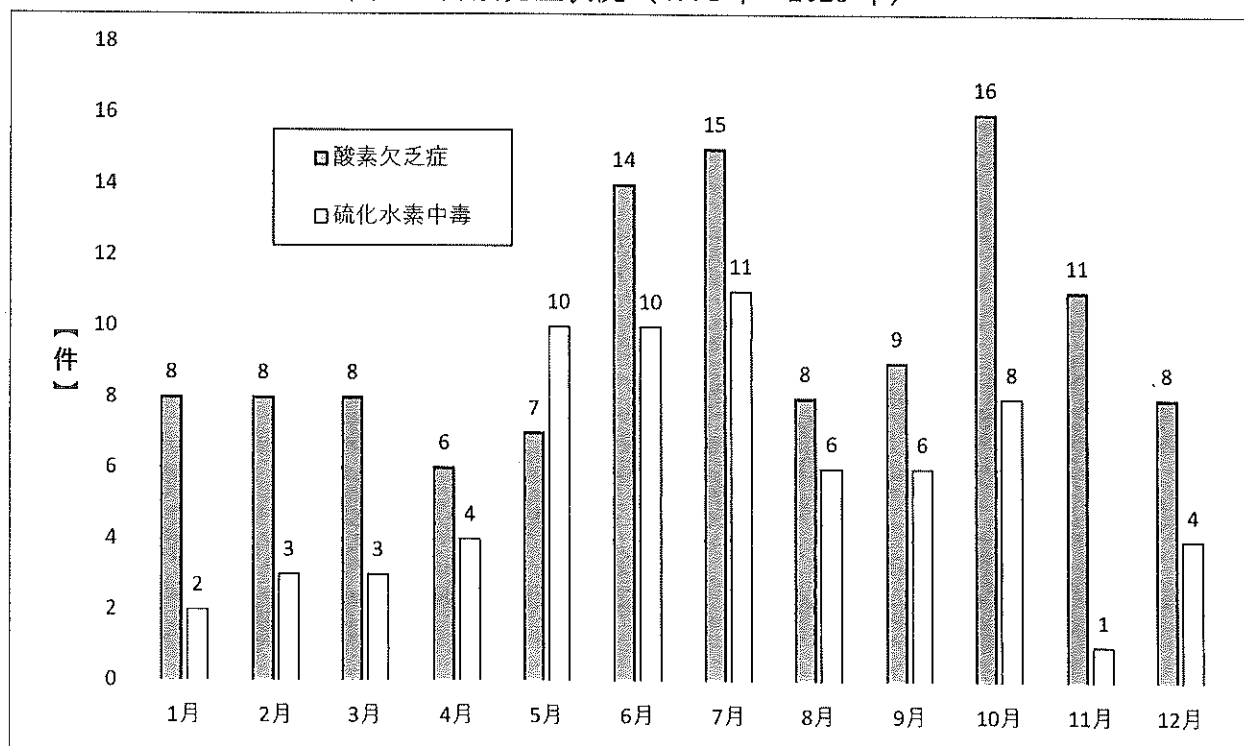
(2) 硫化水素中毒

過去20年間の月別発生状況をみると、発生件数が多い月は、7月の11件、5月、6月の10件である。

表4 月別発生状況（2004年～2023年）（件）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
酸素欠乏症	8	8	8	6	7	14	15	8	9	16	11	8	118
硫化水素中毒	2	3	3	4	10	10	11	6	6	8	1	4	68
計	10	11	11	10	17	24	26	14	15	24	12	12	186

図4 月別発生状況（2004年～2023年）



2023年に発生した酸素欠乏症の事例

番号	業種	発生月	被災者数(人)		発生状況
			死亡	休業	
1	建設業	6	2		トイレの詰まりを直す作業を行っている際に、トイレの配水管がある地下ピットにつながるマンホールの蓋を開けたところ、地下ピット内の酸素欠乏空気に暴露したことで死亡したものの。
2	製造業	10	1		釜の内部の洗浄作業を行う際に、防護マスクに酸素供給管をつなげるところを誤って窒素供給管へつなげ、当該マスク内に窒素が充満し、死亡したものの。
3	清掃・と畜業	10	1		破碎された一般廃棄物のピット内に誤って物を落としてしまい、落とした物を拾うために、天井クレーンのバケットに機上しピット内に降りたところ、酸素欠乏空気に暴露したことで、死亡したものの。

備考

- ・ 「休業」は、休業4日以上のものである。

2023年に発生した硫化水素中毒の事例

番号	業種	発生月	被災者数(人)		発生状況
			死亡	休業	
1	建設業	4		1	温泉の給水タンク補修のためタンク内へ入ったところ、泉源から発生した硫化水素が排水管からタンクへ逆流し滞留していたため硫化水素に暴露し、休業したもの。
2	清掃・と畜業	5		1	深さ2メートルの浄化槽内部でカキ殻の交換作業を行っていたところ、浄化槽内に空気を送り込むホースが外れており、硫化水素に暴露し、休業したもの。

備考

- ・ 「休業」は、休業4日以上のものである。